

人やものを大切に する心や 態度の育成をめざして

幼児期における金銭教育とは
「230円を支払って給食を食べよう」



滋賀県東近江市立
市辺幼稚園
服部要子

人やものを大切にしている子どもとは

- ものを大切にしている子ども
- 人を大切にしている子ども

金銭教育 = 生き方の教育

- 自立心を育てる
- 自分をコントロールする力、我慢する心を育てる
- 命の大切さを知り、思いやりの心や感謝の気持ち育てる
- 物やお金の価値に気づき、大切に扱う方法を知る
- 働くことの楽しさや喜びを味わう

研究の仮説

- 仮説 1
- 仮説 2
- 仮説 3
- 仮説 4

お店屋さんごっこ等の模倣遊びや、お金を使った楽しい経験をすることでお金の働きや大切さがわかるようになるのではないかと。



いらっしやい

いらっしやい

たいやきは

いかがですか～！





つぎは、きょうと～
はっしゃ、お～らい





おさないで
のりましょう

えーっと、

おかねはあるかな？



「230円を支払って 給食を食べよう」

ねらい

お金の大切さを理解させる。

なくしたら給食が食べられないことに気づかせる。

給食はただではなく、お金が必要であることを理解させる。

230円というお金の種類を分からせる。

お金のしくみを学ばせる。

展開の特色

- ❁ 給食交流のお誘い。
- ❁ 不安な場所と、給食の味。
- ❁ 230円の給食代金、お金の大切さを知らせる良い機会。
- ❁ 一人一人が直接支払う。
- ❁ 学校まで持っていく工夫を保護者と共に。
- ❁ お金の仕組みを学ぶ。

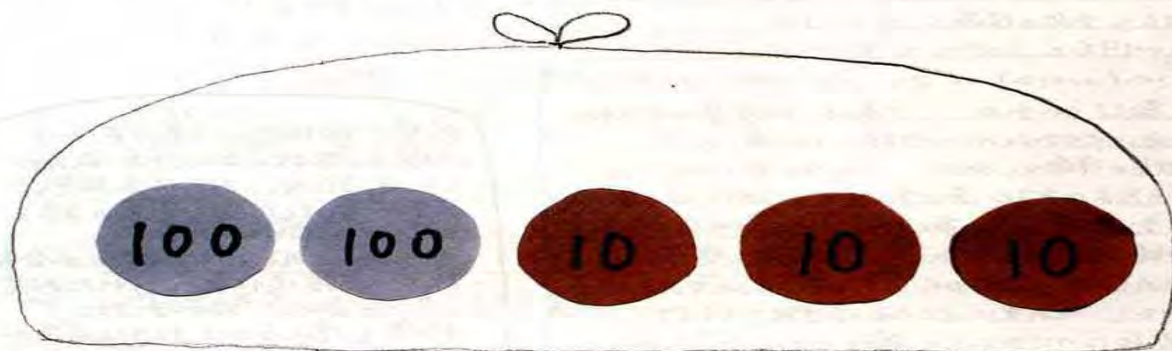
内 容

第1次 クラスで話し合う

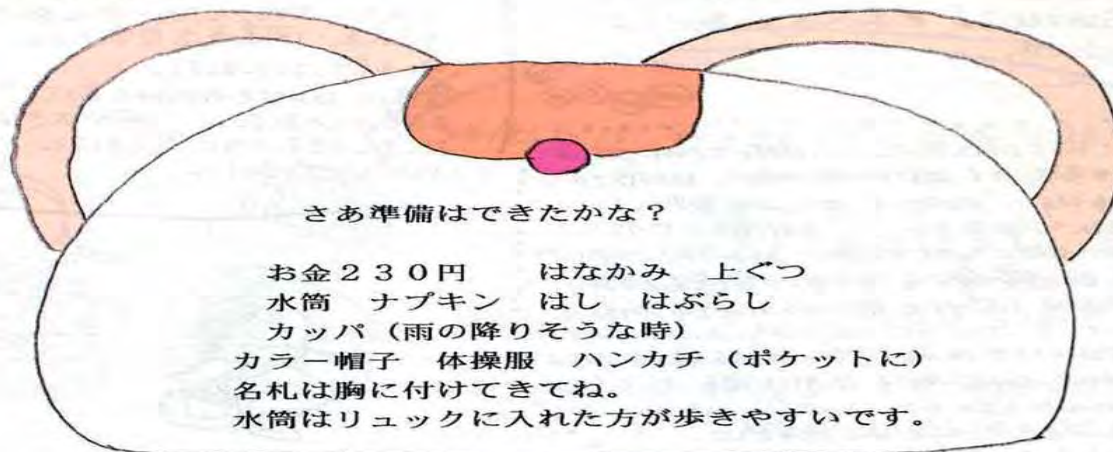
第2次 保護者にお願い

ひまわりぐみのみんなへ

給食のお金は230円です。お財布の中にこの絵と同じお金が入っているかな？ お家の人と一緒に確かめてね。全部で5つだよ。



このお金はどこからきたのかな？ そうだ！ お家の人がいっしょけんめい働いてくれたから、お家にあるんだね。落とさないよう、大事に持っていきましょう！



さあ準備はできたかな？

お金230円 はなかみ 上ぐつ
水筒 ナプキン はし はぶらし
カッパ（雨の降りそうな時）
カラー帽子 体操服 ハンカチ（ポケットに）
名札は胸に付けてきてね。
水筒はリュックに入れた方が歩きやすいです。

元気いっぱいかけましよう！！

内 容

第1次 クラスで話し合う。

第2次 保護者にお願い。

第3次 自分でお金を支払い領収書をもらい
給食をいただく。

(本時)

第4次 事後の話し合い。

第3次 本時の展開

本時の目標

大切に持っていった財布から、自分でお金を支払い給食をいただく。

幼児の活動、教師の援助・留意点

- 自分の用意した財布をカバンから出す。



幼児の活動

- なくなっていなかったことに喜びを感じる。



幼児の活動

- 230円を自信をもって支払う。



幼児の活動

- 「お願いします。ありがとうございます。」の挨拶をする。
- 頂いた領収書を財布にしまう。



幼児の活動

- 喜んで給食をいただく。



幼児の活動

- お金を支払ったからこの給食がいただけたことや、お金のありがたさを感じる。



第4次 事後の話し合い

支払い体験や、お金の大切さを経験した後
保護者の方からの声

- ◆前日に二人で大切なお金の話をし、準備をした。
- ◆給食、全部食べたよ。
- ◆大切な領収書。
- ◆経済のしくみが少し分かったかな。

考 察

230円が自分の食べる給食」の代金ということで、身近に本物のお金の大切さを感じることができた。

小学校との交流という、わくわくする初めての経験がお金を使うということと結びついていった。またそれによって小学校が身近に感じられ、自信となった幼児が多かった。

100円2個、10円3個は幼児にとって分かりやすい数だった。無理なくしっかり数えて確認することができた。

保護者と事前に連携したことが良い結果につながった。

この経験が、自分のことは自分で責任を持つという構えとともに、幼児にお金の大切さが伝わったといえる。

最後に

- 楽しい経験を通して、お金のしくみや大切さを知らせる。
- 楽しい経験。
- 本物のお金の基本。